

今後のETJPの活動について

2005年9月29日

後藤滋樹 (JPNIC)

堀田博文 (JPRS)

石田慶樹 (WIDE Project)

ETJP事務局

- 目的
 - ENUM の実験的運用を行い、それを用いてENUM利用技術の検証を進め、通信アプリケーションや通信サービスの技術検証を促進
 - 諸外国のENUMトライアルとの連携により、国際的利用のための技術を実証
 - 参加者にENUMに関する技術ノウハウを蓄積
 - そのまま商用化することは前提としない
- 活動内容
 - トライアルチーム全体として一つの成果を求めるのではなく、参加者個々が自由に技術実験できる場
 - ENUMトライアル用DNSの運用
 - ENUMを用いる通信アプリケーション(機器、ソフトウェア)の技術的検証
 - ENUMを用いる通信サービスの技術的検証
 - ENUMに関する情報の集積
- 成果物
 - 各参加者の通信機器やソフトウェアの技術的検証結果
 - ENUMを用いる通信サービスの技術的検証結果
 - ENUMを用いた通信サービス実現のための技術課題明確化
 - ETJP自体は財産を持たず、メンバに技術ノウハウ等の知的財産を残す

- ETJPの設立
 - 2004年9月末日までの活動を予定して、2003年9月に設立
- ETJPの会員数
 - 設立時の20会員から45会員に増加
- 会議開催実績等
 - 全体ミーティングを6回、報告会を1回、報告書(第1次・第2次)を作成
- 各実験フェーズの状況
 - フェーズ1
 - ENUM DNS、VoIPルータ、SIPサーバ、ソフトフォン、FAX等実績あり
 - フェーズ2
 - ENUM DNSのTier分割とDNSSEC対応、RFIDを使つてのワンナンバー着信等実績あり
 - フェーズ3
 - 事業者間サービス実験、E.164番号を利用するの国際実験は未実施
 - 2004年9月に「1.8.e164.arpaの委任を受けるなどの状況の変化に対応できる体制を維持」するとして活動を1年間延長

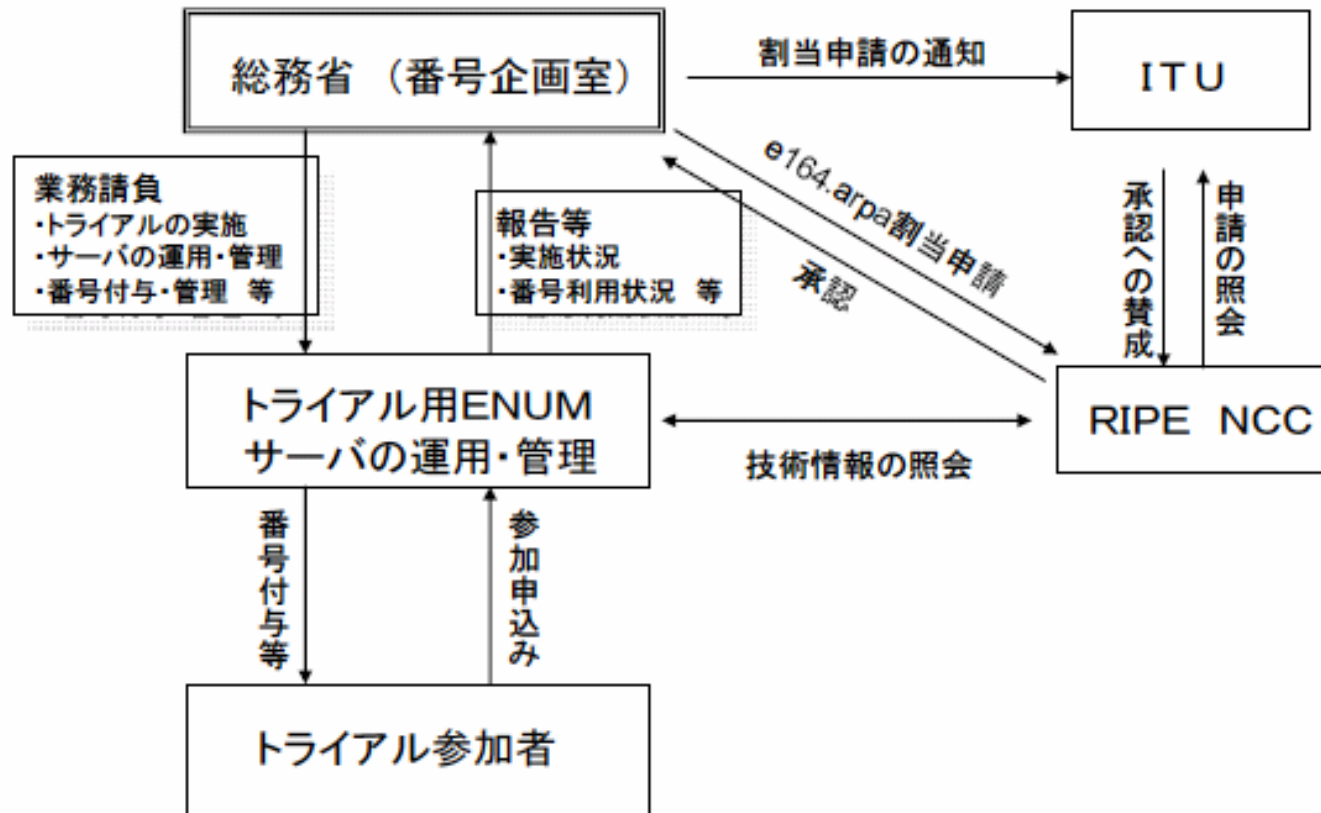
- 1.8.e164.arpaの委任に関する状況
 - 2005年8月10日、総務省の「IP時代における電気通信番号の在り方に関する研究会第1次報告書」が発表。日本国内のENUMトライアルを推進するため、総務省がRIPE NCCにトライアル用のe.164番号の割当申請手続きを行い、承認を得ることが記された(「第5章 その他の検討課題 5-1ENUMトライアルへの対応」(65～70ページ)に記載)
- ENUMトライアルへのこれまでの取組・課題
 - 日本においてもENUMの運用経験の獲得や商用化に向けた検討を行う上では、国際的な枠組みでのトライアルの実施が求められる状況となってきた。このような状況から、e164.arpaのドメイン名を用いた国際的な枠組みでのENUMトライアルのための体制整備について検討を行う必要がある
- トライアルに用いる番号の在り方

既存の電気通信サービス利用者に影響を与える恐れが少ない、これまでの番号体系とは異なる「+8100CDEFGHJK」を使用して、国内でのトライアルを進めている状況である。

国際的な枠組みでのトライアルに限り、今後も同様の番号体系にて行うことが適当である。

- ・トライアルに用いるENUM DNSサーバのITU - Tへの登録
 - 総務省がITU - T及びRIPE NCCに対して割当申請手続きを行い、承認を得ることが適当である。
- ・トライアルに用いるENUM DNSサーバの管理の在り方
 - 国内において、トライアルに用いるTier1 ENUM DNSサーバの運用・管理について技術的・専門的知識が必要であることから、外部の機関に請け負わせる等により運用することが適当と考えられる。
 - トライアルへの参加の申込みは、トライアル用サーバの運用管理機関へ直接行い、各種設定やトライアル番号が付与される体制とすることが望まれる。今後、早急にこのようなENUMトライアルの体制を整える必要がある。

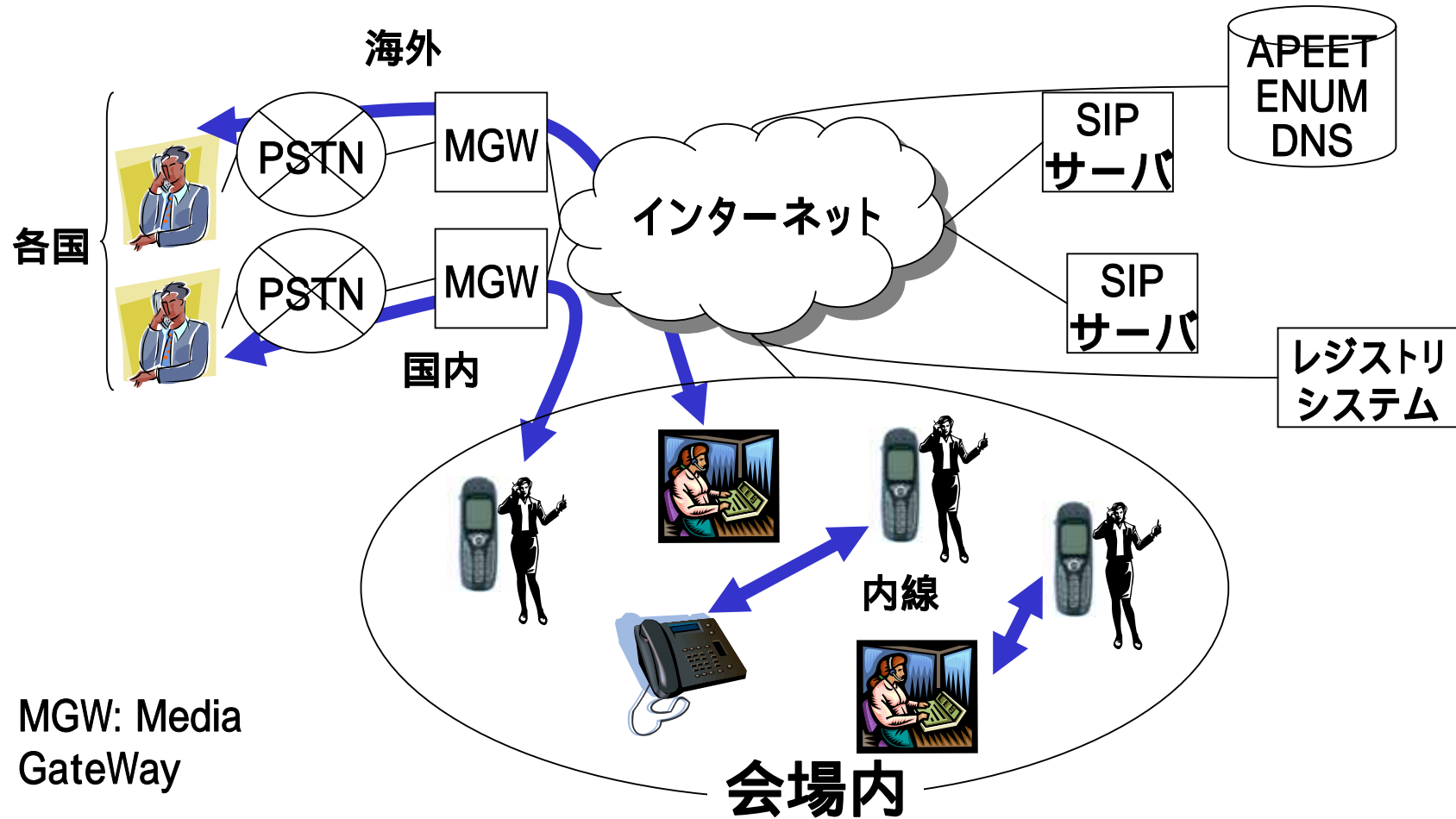
「我が国におけるENUMトライアルへの対応方針」
 「IP時代における電気通信番号の在り方に関する研究会 第1次報告書」から



図表5-4 トライアル用のENUMサーバの管理体制

- 国際的イベントにおけるENUMトライアルスケジュール(予定)
 - 2005/11 APEET Live Trial @ IETF64 (Vancouver.Canada)
 - 2006/01 APEET Live Trial @ APAN21 (Tokyo.Japan)
 - 2006/02 APEET Live Trial @ APRICOT2006 (Perth.Australia)
 - 2006/04 SIPIT18 (Tokyo.Japan)
 - 2006/03 VON SPRING 2006 (場所未定)
 - 2006 ETSI ENUM Plugtest (期間、場所未定)

- アジア太平洋地域におけるENUMに関する技術協力、国際相互接続実験の推進を目的としたグループで初期メンバは各国ccTLDレジストリ
- 現メンバ
 - SGNIC
 - http://www.nic.net.sg/sub_enum/introduction.html
 - CNNIC
 - <http://www.enum.cn/>
 - JPRS
 - <http://etjp.jp/>
 - NIDA (KRNIC)
 - <http://www.enum.or.kr/>
 - TWNIC
 - <http://service.enum.org.tw/>
 - InternetNZ
 - <http://www.internetnz.net.nz/public/enum/>



1.8.E164.ARPAの利用が可能となる予定であるとともに
国際的相互接続イベントが予定されていることも鑑み、
ETJPとしては更に1年間活動を延長することが適当ではないか